

チャペル週報

No.28

2018.1.9 ~ 1.15

わたしは、こう祈ります。
知る力と見抜く力を身に着けて、
あなたがたの愛がますます豊かになり、
本当に重要なことを見分けられるように。
(フィリピの信徒への手紙1章9-10節)



大学図書館屋上より

関西学院宗教センター

☆ チャペル・スケジュール ☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

1月9日(火) 神 私にとっての宗教改革① David Wider (神学部教授)
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)
社 新年を迎えて 打樋 啓史 (宗教主事)
法 大宮 有博 (宗教主事)
経 卒業生を覚えて 前田 高志 (経済学部長)
商 井上 達男 (商学部長)
国 丸楠 恭一 (国際学部長)
理 ALL讃美歌プログラム①
総 菅 翼 (総合政策学部3年) 他
教 今津屋 直子 (教育学部長)

1月10日(水) 阪神・淡路大震災メモリアル合同チャペル(西宮上ヶ原キャンパス)
メッセージ: 橋本 祐樹 (神学部助教) ランパス記念礼拝堂
理 ALL讃美歌プログラム②

1月11日(木) 神 礼拝学演習
文 最終チャペルトーク 永田 雄次郎 (文学部教授)
社 学年度末にあたって 難波 功士 (社会学部長)
法 大宮 有博 (宗教主事)
商 Chapel in English Curtis Rigsby (宣教師)
国 Chapel in English Eun Ja Lee (宣教師)
総 村瀬 義史 (宗教主事)
聖和 橘 実千代 (聖和短期大学准教授)

1月12日(金) 院 小見のぞみ (聖和短期大学宗教主事)
神 中道 基夫 (神学部長)
文 Chapel in English Andreas Rusterholz (宗教主事)
経 経済学と聖書⑩(最終回) 井口 泰 (経済学部教授)
人 大和 三重 (人間福祉学部長)
理 ALL讃美歌プログラム③

1月15日(月) 聖和 聖書物語「少年イエス」

◇ランパス早天祈禱会 毎週金曜日 8:20～8:40 ランパス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)
1月12日(金) 新年を迎えて Ruth M. Grubel (宣教師、社会学部教授)

新年に想う - 三人の俳諧師を通して -

永田 雄次郎

日本の社会は正月と新年度として多くは4月の二種類の新年があるように思えてなりません。どちらが新鮮な気分なのか— 新入生、新入社員の登場に沸き返る4月ですか?でも、カレンダー冒頭の一月は「ものの初め」としての強いインパクトがあります。「一年の計は元旦にあり」の言葉通り、この日に新来の年への誓いを立てる人もたくさんいらっしゃると思えます。

「おもしろや 今年の春も 旅の空」生涯、旅人でもあった松尾芭蕉の正月に寄せる俳句です。旅を愛し、訪問の地の趣を味わうことへのさらなる期待感が伝わって来ることでしょう。

「ことさらに 唐人屋敷 初霞」日本の元旦にふさわしい初霞の中に、中国屋敷（長崎のオランダ屋敷でもよいそうです）という異国風の建物を置く取り合わせの妙は、さすがに、俳諧師で、画家でもあった与謝蕪村の風景に対する鋭利な眼と心で描き切った新年の姿ですね。

「目出度さも ちう位也 おらが春」自らにとって正月のめでたさはほどほどでよろしい、と優しく語る信濃出身の小林一茶の温かい謙虚さの片隅に、僅かな心の屈曲した揺らぎを覚えるのは私だけでしょうか。

三人とも、江戸時代を代表する俳句の名人です。新春、それぞれの感性が閃き、清新で奥深い心の内を巧みに表現しました。良き句との出会いに感謝しながら、これらの作品を生み出したのは、三人の天才的力量的のみによっても考えられないのです。彼らを支える偉大な力の働き、その護りが秀句を誕生させ、国、時代を問わず誰彼なく同じような感動が与えられるのではありませんか。

私は、関西学院大学を卒業、阪神・淡路大震災の年に母校に戻り、この3月末定年を迎える者です。人は各自の役目に合う才能を神様から授けられ、それを生かしつつ他人に尽す務めを持つが、その完成までいつもイエスの大きな愛に護られていることを学んだと思うのです。

三人の俳諧師はキリスト教とは無関係かも知れません。しかし、三人のなし得た活動と成果を、私たちが関西学院で学んだ、あるいは学び続けようとする精神、心情になぞらえるのは少しばかりこじつけが過ぎていますか。

(文学部教授)

●阪神淡路大震災メモリアル・チャペル

と き：1月10日（水）10：35～11：05
ところ：ランバス記念礼拝堂（西宮上ヶ原）
メッセージ：橋本 祐樹（神学部助教）
主 催：関西学院大学

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アブローズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、大学院授業期間中の毎週木曜日にチャペルアワーを開催しています。（17：50～18：20 1405教室）
1月11日（木）主題「新しい年を迎えて」舟木 讓（宗教総主事）
1月18日（木）主題「阪神淡路大震災メモリアルチャペル」舟木 讓（宗教総主事）

●夕べの祈りatランバス～テゼの音楽とともに～

ろうそくの光を灯して、テゼの歌を歌いながら、皆でこころ静かに過ごす夕べの祈りのひとときです。どなたでもご参加ください。

第4回 1月11日（木）18：30～20：00
ところ：ランバス記念礼拝堂（西宮上ヶ原）
主 催：夕べの祈り準備会（学生有志）
協 力：関西学院宗教活動委員会

●チャペル・オルガニスト卒業演奏会

各学部チャペルをはじめ式典などでオルガン奏樂を務めるチャペルオルガニスト5名が今春関西学院大学を巣立ちます。学生時代の思い出を胸に、これまでのレッスンと練習そしてチャペルでの経験すべてをこの日の演奏に託します。どうぞご来場いただき、学生時代最後の演奏に拍手をお願いいたします。どうぞご来場いただき、学生時代最後の演奏に拍手をお願いいたします。

と き：3月3日（土）14：00～
ところ：ランバス記念礼拝堂（西宮上ヶ原キャンパス）

●3.11東日本大震災記念礼拝

日 時：3月11日（日）14：00～
場 所：ランバス記念礼拝堂（上ヶ原）、他
内 容：礼拝（地震発生時刻に合わせ14：46に黙祷を行う。）
活動報告 等

◆CD・DVDライブラリー

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員（学生証または身分証明書必要）であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

◆使用済み切手収集にご協力ください

本学では日本キリスト教海外医療協力会（JOCS）切手部の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますのでどうぞ吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。

◆盲導犬育成のためご協力をお願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室はじめ各学部カウンターに募金箱を用意しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。

●今号が本年度「チャペル週報」の最終号です

2018年度は4月9日（月）号からの発行となります。新年度のチャペルや宗教センター、宗教活動委員会、吉岡記念館主催の催し物などのご案内をしております。またエッセイ欄では、教職員の方々によるメッセージを掲載しますのでご期待ください。
